

## 重点課題(事業概要) 令和4年度下期

### ①利用しやすさ(利便性)の向上

- \* 開館時間、休館日の見直しの検討

→継続

- \* 館外サービスの充実

・ブックポストの増設や公共施設・事業所と連携した受け取り・返却サービスの検討

→継続 和戸地区検討

- \* 資料検索、リクエスト、貸出サービス等の改善・充実→継続

### ②レファレンスサービスの充実と利用促進

- \* 相談窓口(スタッフ)サービスの充実と利用促進→継続

### ③利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集

- \* 多様な情報資料の蓄積と提供

・他の公共図書館、大学図書館との連携と相互協力の推進→継続

・デジタル化郷土資料を拡大・充実し、地域の情報発信力を高める

→(子供用画面のアップ済・・・授業に利用できるか検討)

・電子書籍(TRC-DL)の充実と利用促進→継続

### ④高齢者・障がい者向けサービスの充実

- \* 高齢者向けサービスの充実を検討する

・よみうり回想サロンの実施

→10月に実施、24名参加。

・バリアフリー映画会の実施

→11月実施、75名参加。

- \* 様々な障がいに対応したサービスの充実を検討する→継続

- \* 来館が困難な利用者向けサービスの充実を検討する→継続

・自治会、地域交流サロン、福祉施設への団体貸出を検討する→継続

### ⑤子供の読書活動の推進と小中学校との連携

- \* ボランティアとの連携による行事の継続開催

・ボランティアグループと協働による「おはなし会」「紙芝居」「映画会」等行事の実施

→毎月実施

・「すいようえほんの会」の実施

→毎月実施

- \* 乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進

・「赤ちゃんタイム」の実施、子育て支援の一環として、親子で気兼ねなく図書館で過ごせる時間を提供する

→毎週実施

・講座「生きる力を育てるために～絵本のある子育て」の実施

→今年度は講師都合により中止

・「にちようえほんの会」の実施

→毎月実施

- \* 児童や青少年の読書活動の促進、図書館利用につながる行事の継続開催
  - ・小学生の読書推進活動の一環として、単位制の司書講座を開設し、全単位取得者には「子ども司書」認定証を授与する  
→3月に3回連続講座を開く。
  - ・ビブリオトークの実施  
→検討中 コロナのため実施できなかった
  - ・「ぬいぐるみおとまり会」の実施  
→5年1月実施 25名参加。
  - ・夏休み期間中「科学あそび教室」、「おはなし工作会」、「読書感想文教室」等行事の実施  
→定員制とし、7月、8月に実施、科学あそび教室 24名参加、おはなし工作会 9名参加、読書感想文教室 11名参加、  
→8月こわ〜いおはなし会実施、53名参加
- \* 小中学校との連携(支援)
  - ・新小学校1年生全員に、「本の紹介」、「図書室利用のオリエンテーション」を実施し、好きな絵本をプレゼントする(らんどせるブック)、同時に希望者に「図書館利用カード」「読書通帳」を発行する  
→実施した。読書通帳は 287冊渡した。
  - ・オンライン化した小・中学校図書管理により学校連携を更に強化する→継続
  - ・図書館システムによる蔵書管理の支援を行う→継続
    - ・読書統計資料活用により児童・生徒の読書指導を支援する→継続
  - ・学校図書ボランティアとの協働により、児童・生徒の読書活動の推進を図る→継続
  - ・第11回「宮代町図書館を使った調べる学習コンクール」の事務局としてコンクールの充実を図る  
→第11回を実施した。69作品 70名参加。  
全国では優良賞(温泉の?ハテナを調べたよ 笠小4年)  
佳作(足のにおいの原因はこれだ 笠小5年)が受賞。
  - ・地域の小学校、中・高等学校からの社会体験研修を積極的に受け入れる  
→7月、8月に特別支援学校教員研修を受け入れた。アバンティさんから1名を受け入れた。  
→11月笠小まちたんけん2年3クラス 90名。
  - ・町内小・中学校にデジタル郷土資料を授業用資料として提供する  
→検討中
  - ・町内小・中学校に電子書籍(図鑑等)を授業用資料として提供する  
→検討中
- \* 地域や他施設との連携
  - ・「子育てひろば」、国納保育園への団体貸出の実施  
→子育てひろば、国納保育園、みやしろ保育園、学童(3クラブ 11クラス)、教育支援センターみらいへ実施
  - ・「進修館」とのコラボ企画の実施を検討する  
→検討中・・・見送る
  - ・自治会の祭り等へ出張読み聞かせを実施

→検討中・・・情報を入手しニーズを探る

・認知症合同展の開催 10 月

→(主催)宮代町立図書館、(協力)宮代町健康介護課、宮代町社会福祉協議会、日本工業大学  
展示ホールに図書館としては認知症関連図書(一般書、児童書)の展示をし、各団体はパネル  
や配布物などを展示した。あわせて認知症映画上映(70 名参加)、回想サロン(24 名参加)を実施  
した。

#### ⑥地域に根差し、住民、利用者とともに育む図書館運営

\* 専門的職員の配置と育成

・スタッフの適正配置と研修→**継続**

\* 住民や利用者の交流と図書館運営の参画

・「ライブラリーシアター」、「落語鑑賞会」の実施

→ライブラリーシアターは毎月実施。漫談鑑賞会は 9 月実施、41 名参加。

・読書会の実施。蓄音機や CD を利用した音楽会の実施

→レコード持ち寄り鑑賞会は 9 月に実施、30 名参加

・日本工業大学、東洋大学、東武動物公園等や地域との連携による講演会等の実施

→日本工業大学特別講演会 10 月実施、14 名参加

・郷土資料館との連携によるデジタル郷土資料を活用した「郷土講演会」の実施

→令和 5 年 2 月実施 55 名参加。

・ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したクラシック鑑賞会の月例実施

→毎月実施(9 月はスタッフ選曲の「0 さいから楽しむファミリークラシック」を子育て世代向けの音楽  
会を実施した(大人 15 名、子供 15 名参加))

・国立国会図書館「歴史的音源サービス」を利用した落語・オペラ等の鑑賞会の実施

→令和 5 年 1 月実施 30 名参加。

・大人のための 16mm 映画会の実施

→11 月に実施 73 名参加。

・大人のための絵本の会を実施

→コロナのため検討中 中止。

\* 情報の公開と発信の強化

・広報紙「図書館だより」、「こどもの部屋」の充実→**継続**

・ホームページはスマホ・タブレットに対応した改修を実施

→昨年度実施済み・・・充実を図る

・ツイッター等による情報発信を検討

→昨年度実施済み・・・充実を図る

#### ⑦施設の適切な維持改善と快適な利用環境づくり

\* 施設、設備の改修→**継続**

・老朽化した施設、設備の修繕

・駐車場に関する課題を検討する

→**継続**

\* 既存施設の活用、施設空き時間の有効活用

・夏休み・春休み・試験期間に研修室を学習室として開放する

→コロナのため中止している

- ・「講師控室」「朗読室」を授乳室として提供する→給湯室に扉を設置し利用しやすくすることを検討
- \* 閲覧、学習スペースの充実
- ・レイアウトの検討→継続